

鯖江市教育委員会

2月定例会議事録

令和4年2月14日（月）

1 会議概要

- 日 時 令和4年2月14日(月) 午後2時55分開会
午後5時40分閉会
- 場 所 鯖江市役所4階第2委員会室
- 出席委員
齋藤 教育長
笹本 教育長職務代理者 蓑輪 委員
中村 委員 柴田 委員
- 欠席委員
なし
- 出席説明員
服部 事務部長 無量小路 健康福祉部長
木村 教育審議官 前田 次長
高島 教育政策課長 齋藤 生涯学習・スポーツ課長
西山 文化の館副館長 長崎 保育・幼児教育課長
- 欠席説明員
なし
- 書記
木原 教育政策課参事
- 議事日程
 - (1) 開会の宣告 午後2時55分開会
 - (2) 会議録署名人の指名 笹本 委員 柴田 委員
 - (3) 報告事項
 - (4) 議案
 - 議案第2号 令和3年度鯖江市教育委員会3月補正予算要求の概要について 可決
 - 議案第3号 令和4年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について 可決
 - 議案第4号 公民館長の任命について 可決
 - (5) 教育長の報告
 - (6) その他
 - ① 令和4年度鯖江市教育委員会基本方針(素案)について
 - ② 鯖江市子どもの読書活動推進計画の改定について
 - ③ 小中学校、幼稚園等における新型コロナウイルス感染状況および対応について

④ 次回開催予定等について

3月定例教育委員会開催予定

日 時 3月23日(水)午後3時

場 所 鯖江市役所 4階第2委員会室

(7) 閉会の宣告 午後5時40分閉会

2 会議大要

(1) 議案審議

議案第2号 令和3年度鯖江市教育委員会3月補正予算要求の概要について

【説明】

関係課長が令和3年度鯖江市教育委員会3月補正予算要求の概要について説明

【質疑】

<委員>

なし

<教育長>

議案第2号に異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第2号を承認することとする。

議案第3号 令和4年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について

【説明】

関係課長が令和4年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について説明

【質疑】

<委員>

チャイルドセンターに1名増員するということだが増員すればよいということではないので、何か目的値をもって1年間活動してもらえるようチャイルドセンターや学校にお願いしたい。

高年大学に通学する移動手段がない方に対する送迎は、バスで送迎するのか、タクシー代を出すのか、もう一度説明をお願いしたい。

図書購入費について毎年ほぼ同額を支出しているが、今後どのような方針で図書を増やしていくのか。どういうジャンルを増やすといった方針はあるのか。

<教育審議官>

不登校は、原因や背景が非常に複雑で多様である。国も単に学校復帰のみではなく、将来の社会的な自立を目指すようにと言っている。具体的な数値目標は設定しづらいが、不

登校の子どもの中で、発達に課題を抱えている子どもが最近増えてきているという声を学校現場から聞いて、各学校の相談を受けてアドバイスが出来るような人材をチャイルドセンターに配置したいということで、予算を増額した。不登校の状況は1人1人違うので、学校、チャイルドセンター、さらに関係機関と連携を図りながら、少しでも子ども達が学校に通えるようにしていきたい。

<生涯学習・スポーツ課長>

高年大学の件だが、移動手段がない利用者に対しての救済措置ということで検討している。実際に申し込みいただく中で、ジャンボタクシー等で送迎する場合にかかる費用を1年間にある講座数22講座、25人程度が参加するという想定で算出している。

<文化の館副館長>

蔵書の収集についてはジャンルが偏らないよう心がけている。ベストセラーであっても単品で購入し、待ち順が多い場合のみ追加購入することになっている。郷土資料については、福井県、鯖江市の方が執筆したものについては重点的に収集している。

<委員>

全体的に必要とされるところにきちんと予算をつけているという印象である。学校生活支援員の予算については、学校の要望に応える形で増額になっていると思うがどうか。

読書推進のために、各学校で読書リーダーを養うということで、認定証を渡すような話をしてしたが、学校側も文化の館もいろいろなことを実施しているが読書推進はなかなか難しい。しかし、本当に本を好きな子どももいるので読書愛好家が増えていくといい。今後どのように進めていくのか教えてほしい。

<教育審議官>

現在15校にスクールカウンセラーを配置している。県費のカウンセラーも合わせてチャイルドセンターで研修会なども実施している。新しい課題としてヤングケアラーがキーワードになっており、今後学習する機会を設けたいと考えている。

<文化の館副館長>

ジュニア司書養成講座についてだが、県の推奨もあり小学4、5年生を対象に10名程の募集を予定している。一定のコマ数を受講した方に認定証をお渡しするもので、5年後には40名の認定者を出していきたいと考えている。期待される効果としては、現在、読書離れが進んでいることから、読書活動のリーダーから良い影響を与えていけるよう育成していこうというものである。

<委員>

認定証については、紙1枚ではなく、他の子ども達が認定証をみて、読書の意欲が起きるようなものを考えてほしい。

夏休みなどの長期休みに文化的価値がある場所を巡る事業があるが、ふるさと教育の視点からも古墳だけではなくいろいろな所を工夫して盛り込んでいただきたい。

<文化の館副館長>

認定証については学校でうらやましがられるような取り組みを考えていきたい。

〈文化課長〉

夏休みの宿題など、自由研究の1つとして参加されている方が増えてきているので、将来、歴史好きの鯖江市民が育つように、これからもふるさと教育に取り組んでいきたい。

〈委員〉

冬季通学バスの予算化について、これまでの保護者の願いが叶ったように思う。今までなかなか予算化が進まなかったが、今回予算化できた理由を教えてください。

〈教育審議官〉

これまで要望があったことは承知している。今回、鯖江市として子育て支援を大きな柱として令和4年度の予算を編成するというので、冬季通学バスの予算を計上した。

〈教育長〉

これまで、コロナ対策として、バスのかかり増しを予算化していたものがあったので、振りかえする形で予算計上した。

〈委員〉

成人式について、次年度の対応について教えてください。

〈生涯学習・スポーツ課長〉

令和4年度からは、名称を二十歳のつどいとさせていただくが、内容は大きく変わっていない。令和4年度から18歳、19歳の人に対しては、新成人となることから、市から何らかのメッセージを出せるとよいと考えている。

〈委員〉

他市の状況はどうか。

〈生涯学習・スポーツ課長〉

他市についても、二十歳のつどいとする聞いています。

〈教育長〉

18歳で実施する自治体はあるが少ないと聞いています。ちょうど、進学や就職など進路を決める年齢になるので、参加者が見込めないのではないかとということもあり、20歳で実施させていただく予定である。

成人年齢は引き下げられるので、何かしらの意識づけはメッセージとして届くようにしたい。

〈委員〉

総合教育会議の中でも議題として挙がっていたが、人生100年ということで生涯学習として学ぶ機会があるとよいが、生涯学習・スポーツ課の予算の中で、生涯学習として、こういうところに予算をつけたというものはあるのか。

〈生涯学習・スポーツ課長〉

特に計上しているものはないが、各種学級運営や放課後子ども教室も含めて、もともとある事業を組み替えて対応しているところである。

〈事務部長〉

確かに予算化という意味では見えにくいところはあるが、総合教育会議でも各地区公民

館で取り組んでいる内容を紹介させていただいた。

新年度は公民館との話し合いの中で、市民の皆さんが自分の地区だけではなく他の地区の講座にも参加できるような取り組みを職員と話し合いながら進めていきたいと思っている。

そういった事業は、もともと公民館の事業として盛り込まれているので、それを活かしてもらおうことになる。

その他として、DXの推進としてw i f iの環境整備も考えており、その後、いろいろな講座に参加できるようになることを考えていきたい。

<教育長>

高年大学の授業についても配信できるような体制がとれないか調整している。

<教育長>

議案第3号に異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第3号を承認することとする。

議案第4号 公民館長の任命について

<教育長>

議案第4号「公民館長の任命について」は人事案件となっているので、教育委員会会議規則第15条ただし書きの規定により秘密会としたい。異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第4号は秘密会とする。

(2) 教育長の報告

子ども達の体力低下、ネット利用等について
学校経営の状況報告について

(3) その他

- ① 令和4年度鯖江市教育委員会基本方針(素案)について
- ② 鯖江市子どもの読書活動推進計画の改定について
- ③ 小中学校、幼稚園等における新型コロナウイルス感染状況および対応について
- ④ 2～3月の行事予定について

議事録署名人 笹本 憲子

議事録署名人 柴田 直昌